

# 多様な「人活」支援サービス創出事業費

平成27年度予算案額 **2.0億円 (2.9億円)**

## 事業の内容

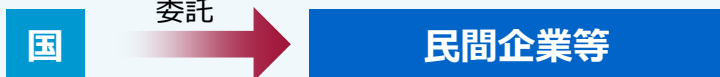
### 事業目的・概要

- 我が国では産業構造の転換が重要な課題となっており、経済成長や雇用の確保を図りつつこれに対応するためには、スキルと経験を持つ社会人が成長分野で活躍し、更なる価値創造を図ることが不可欠です。
- しかし、そのような人材が実際に活躍した成功事例がほとんどないことや成長分野の人材ニーズを的確に把握出来ていない等の様々な課題があることから、現状の民間ビジネスはこうした人材の流れを促す役割を果たせていません。このため、スキルと経験を持つ社会人が成長分野で活躍するために必要な再教育・マッチングを一体的に行うサービス（「人活」支援サービス）を提供する産業の創出・振興が必要となります。
- このため、本事業において、再教育・マッチングのプログラムの開発や、同プログラムを受講した人材が実際に成長分野で働く実証等を実施し、成長分野での人材活用の成功事例の組成・普及等により「人活」産業の創出・振興を図ります。

### 成果目標

- 平成25年度から平成27年度の3年間の事業であり、当該活動実績(プログラム参加人数105人程度)及び成果実績(受入企業満足度90%)を蓄積及び普及する事で、民間人材ビジネスとしての自立化を促します。

### 条件 (対象者、対象行為、補助率等)



## 事業イメージ

### 成長分野

グローバル展開企業  
(中小企業、サービス業)

健康長寿  
ヘルスケア・子育て産業

環境、エネルギー産業

IT・クリエイティブ産業

創業期・第二創業期企業  
等

### スキルと経験を持つ層 (企業の中堅人材等)

- 金融、コンサル、商社など、海外進出に必要な能力を持つ人材
- 工程管理・品質管理スキルを有する管理職
- 大企業内で経理・財務・営業・人事マネジメント等を担当していた人材
- 資格持ち 等

### 「人活」支援サービスの創出・振興が必要

成長分野の事業者の人材ニーズに適合した再教育・マッチングのプログラムをPDCAサイクルを回しながら開発・実証

#### STEP 1

分野ごとに異なる成長分野で必要とされる適性、スキルの明確化

#### STEP 2

成長分野に必要なマインドやスキルに係る再教育プログラムの開発 (マインドリセット、スキル・経験の汎用化等を含む)

#### STEP 3

再教育プログラム受講者の成長分野の事業者での就労

#### STEP 4

受講者の活躍状況の検証及び再教育プログラムへの反映